

令和2年度 根拠資料一覧表

資料 01	令和元年度 和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会委員 (医学部委員会) 名簿
資料 02	令和元年度 教育研究審議会委員名簿
資料 03	令和元年度 和歌山県公立大学法人評価委員会委員名簿
資料 04	FD 研修会資料 (サンプル)
資料 05	令和元年度 1、3、5、6年生カリキュラム
資料 06	令和元年度 基礎配属報告会開催概要
資料 07	令和元年度 4年生特別講義資料 (ワークライフバランス、地域医療)
資料 08	令和元年度 ケアマインド教育スケジュール表
資料 09	令和元年度 シラバス「医学英語、遺伝子と遺伝子異常」
資料 10	平成 30、令和元年度 臨床実習要綱別冊 (選択制) 臨床実習日程
資料 11	現 6年生への選択実習の希望調査票
資料 12	令和元年度 シラバス「基礎医学英語」
資料 13	令和元年度 第 1 回カリキュラム専門部会議事録
資料 14	令和元年度 臨床実習後客観的臨床能力試験実施計画
資料 15	令和元年度 卒業試験 (1 回目、2 回目) 正答表紙
資料 16	レスポンスアナライザー使用実績
資料 17	Moodle の臨床実習学生評価画面
資料 18	担任制について
資料 19	学生相談室の配置図
資料 20	平成 27 年度・令和元年度 医学部教員男女別人数
資料 21	和歌山県立医科大学教員選考規程
資料 22	ワークライフバランス支援センター (学内ホームページ内)
資料 23	クレヨン保育園の案内
資料 24	令和元年度 FD 研修会一覧
資料 25	津波避難経路図
資料 26	学生カルテ操作演習マニュアル
資料 27	スキルスラボ職員名簿
資料 28	学内ページ (E ラーニングシステム)
資料 29	和歌山県立医科大学教育研究開発センター構想図
資料 30	Certificate for Medical Clerkship
資料 31	紀北分院 外来担当医表
資料 32	授業評価に係る改善計画等について
資料 33	令和元年度 シラバス「学生による授業評価について」
資料 34	令和元年度 年間事業実績報告書「開催した部会一覧」
資料 35	教育研究開発センター ホームページ (部会・委員会)

令和元年度 教育研究開発センター

各部会部会長・副部会長・部会委員（医学部委員会）名簿

※ 任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日（2年）

【カリキュラム専門部会】

部会長	村田 顕也	(教育研究開発センター長) (医学部委員会委員長)
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)
	廣田 麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	平井 秀一	(教養・医学教育大講座 教授)
	森川 吉博	(解剖学(2) 教授)
	改正 恒康	(生体調節機構研究部 教授)
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授)
	赤阪 隆史	(内科学(4) 教授)
	伊東 秀文	(神経内科学 教授)
	鈴木 啓之	(小児科学 教授)
	中尾 直之	(脳神経外科学 教授)
	井筒 一彦	(産科婦人科学 教授)
	廣西 昌也	(紀北分院総合内科学 教授)
	上野 雅巳	(地域医療支援センター長 教授)
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

学生委員 2 名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。

【臨床技能教育部会】

部会長	加藤 正哉	(救急・集中治療医学 教授) (医学部委員会委員長・OSCE実施責任者)
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)
◎OSCE実施委員		
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)
	園村 哲郎	(放射線医学 教授)
	岩倉 浩	(内科学(1) 講師)
	久保 隆史	(内科学(4) 准教授)
	柑本 康夫	(泌尿器科学 准教授)
	尾浦 正二	(外科学(1) 准教授)
	水本 一弘	(医療安全推進部 准教授)
	羽野 卓三	(学長特命教員 (特別顧問))
	田中 才一	(眼科学 講師)
◎CBT実施委員		
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授) (CBT実施責任者)
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教) (OSCE実施委員)
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)
	竹下 達也	(公衆衛生学 教授)
	西尾 真智子	(微生物学 教授)
	山本 景一	(医療情報部 准教授)
	田中 篤	(内科学(4) 准教授)
	中西 正典	(内科学(3) 准教授)
	中 飼 聡	(神経精神医学 教授)
	西 理 宏	(病態栄養治療部 准教授)
	南 佐和子	(総合周産期母子医療センター 准教授)

【FD部会】

部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)
副部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)
	山田源	(学生部長)
	廣田麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	井原義人	(生化学 教授)
	藤井隆夫	(リウマチ・膠原病科学 教授)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

【入試制度検討部会】

部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)
副部会長	近藤稔和	(法医学 教授) (医学部委員会委員長)
	村田顕也	(教育研究開発センター長)
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)
	金桶吉起	(生理学(1) 教授)
	村垣泰光	(病理学 教授)
	竹下達也	(公衆衛生学 教授)
	北野雅之	(内科学(2) 教授)
	山本信之	(内科学(3) 教授)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

【教育評価部会】

部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)	(医学部委員会委員長)
副部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)	
	羽野卓三	(学長特命教員(特別顧問))	
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	茂里康	(教養・医学教育大講座 教授)	
	井原義人	(生化学 教授)	
	改正恒康	(生体調節機構研究部 教授)	
	山本信之	(内科学(3) 教授)	
	伊東秀文	(神経内科学 教授)	
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)	
	藤本眞一	(奈良県立医科大学教育開発センター 教授)	
学生委員	1名	※学生自治会代議員会において毎年度選出する。	

【自己評価委員会】

委員長	村垣泰光	(医学部長)
	柳川敏彦	(保健看護学部長)
	太田茂	(参事(薬学部長予定者))
	平井秀一	(入試・教育センター長)
	山上裕機	(病院長)
	山田源	(学生部長)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)
	藤本眞一	(奈良県立医科大学教育開発センター教授)
	大江嘉幸	(前和歌山市教育委員会教育長)

【運営委員会】

委員長	教育研究開発センター長
	教育研究開発センター 副センター長
	医学部長
	保健看護学部長
	参事(薬学部長予定者)
	学生部長
	入試・教育センター長
	事務局長

令和元年度教育研究審議会委員

役 職	氏 名	備 考
学 長	宮下 和久	理事長
2号委員	幸前 裕之	副理事長
3号委員	稲葉 信	事務局長
5号委員	村垣 泰光	医学部長
5号委員	柳川 敏彦	保健看護学部長
6号委員	山上 裕機	附属病院長
6号委員	雑賀 司珠也	産官学連携推進本部長
6号委員	山田 源	学生部長
6号委員	平井 秀一	入試・教育センター長
6号委員	森岡 郁晴	図書館長
6号委員	上野 雅巳	地域・国際貢献推進本部長
7号委員	森川 吉博	解剖学第2講座教授
7号委員	岩村 龍子	保健看護学部教授
7号委員	鈴木 啓之	小児科学講座教授
8号委員	足立 基浩	学外委員（和歌山大学教授）

<資料>

○和歌山県公立大学法人評価委員会 委員名簿（敬称略） ◎印は委員長

氏 名	役 職 等
◎ 辻 省 次	国際医療福祉大学大学院・医学部教授 東京大学大学院医学系研究科分子神経学特任教授
川 渕 孝 一	東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授
坂 本 す が	東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長
瀬 戸 嗣 郎	静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田市民病院顧問
西 野 仁 雄	名古屋市立大学名誉教授 名古屋市立大学元学長
三 木 義 男	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授 東京医科歯科大学難治疾患研究所教授

○業務実績の評価に係る和歌山県公立大学法人評価委員会の開催状況

- ・第1回和歌山県公立大学法人評価委員会 令和2年7月7日開催
- ・第2回和歌山県公立大学法人評価委員会 令和2年8月6日開催

○大学収容定員等（平成31年4月1日現在）

	収容定員（人）	収容数（人）
医学部	600	618
保健看護学部	320	323
医学研究科	196	139
修士課程	28	21
博士課程	168	118
保健看護学研究科	33	44
博士前期課程	24	27
博士後期課程	9	17
助産学専攻科	10	9

○教職員数（平成31年4月1日現在）

総 数（人）	1, 786
教員	394
事務職員	147
技術職員	7
現業職員	1
医療技術部門職員	317
看護部門職員	914
研究補助職員	6

（出典）令和元年度和歌山県立医科大学概要

※サンプル

ケアマインド教育1年生講義 コアカリ対応表

No.	項目	担当科	担当	コアカリキュラム	番号
1	オリエンテーション	教育研究開発センター	村田	A-1-1	②
				A-1-2	②③④
2	障害者スポーツ講演(患者)	教育研究開発センター	村田	A-1-2	②③④
				A-4-1	③
3	障害者スポーツグループワーク	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
4	障害者スポーツ学生発表	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
	(以下、略)				



今年度の講義内容がコア・カリキュラムのどの部分に該当するかチェックを行う

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (抜粋版)

文部科学省<http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm>

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1) 医の倫理と生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> ①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。
A-1-2) 患者中心の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる
A-1-3) 医師としての責務と裁量権	<ul style="list-style-type: none"> ①診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ③医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 ⑤医師の法的義務を列挙し、例示できる。

改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方(抄)

大学教育における位置付け

○モデル・コア・カリキュラムの整理

モデル・コア・カリキュラムは、各大学が策定する「カリキュラム」のうち、全大学で共通して取り組むべき「コア」の部分抽出し、「モデル」として体系的に整理したものである。このため、従来どおり、**各大学における具体的な医学教育は、学修時間数の3分の2程度を目安にモデル・コア・カリキュラムを参考**とし、授業科目等の設定、教育手法や履修順序等 残りの3分の1程度の内容は各大学が自主的に編成するものとする。この際、卒前の研究室配属などの学生時代から医学研究への志向を涵養する教育や、医療関係者以外の方の声を聴くなどの授業方法の工夫など、各大学において特色ある取組や授業内容の改善に加え、これらの実現に向けた教(職)員の教育能力の向上を進めることが望まれる。こうした取組の実行可能性を高めるために、基本的にはモデル・コア・カリキュラムをスリム化する方向で整理をしたが、合わせて、医学や医療の進歩に伴う知識や技能について、全てを卒前教育において修得することを目指すものではなく、生涯をかけて修得していくことを前提に、卒前教育で行うべきものを精査する必要があることも強調しておく。

1年生 (I・II期) カリキュラム

※火曜日時間割 1限:9:00~10:10、2限:10:20~11:30、3限:11:40~12:50、4限:13:30~15:00(90分)、5限:15:10~16:20

※講義は主として医学部三葛教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物学実習Ⅰは、I期の前半・後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて隔週ごとに受講する。(詳細は別途掲示する。)

※内容は変更になることがある。

No	1学期					2学期					3学期					4学期						
	入学式																					
1	新入生ガイダンス					新入生ガイダンス					新入生ガイダンス (ワークショップ)	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
2	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	健康診断		英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	新入生研修						
3	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	医学入門	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
4	昭和の日					祝日					祝日					憲法記念日						
5	振替休日					M.D-Ph.D説明会/TOEFL ITP					英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
6	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
7	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
8	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	情報処理/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
9	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	基礎理科(物/化/生)	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
10	人権講義	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
11	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	人権講義	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
12	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
13	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
14	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
休	海の日					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
	振替休日					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)						
15	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	医学入門	教養セミ ナーⅠ	英語Ⅰa	化学A	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
16	生物学A	倫理学	医療社会 科学Ⅰ	教養セミ ナーⅠ	保健体育Ⅰ	物理学A	フランス語/ドイツ語/ 中国語	ケア・マイ ンド	教養セミ ナーⅠ	早期体験実習報告会					生物学A	生物学A	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ	医学概論 Ⅰ	医学概論 Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
17	I期試験					I期試験					I期試験					I期試験						
18	敬老の日					I期試験					I期試験					I期試験						

No																								
19	秋分の日				10/23	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	I期再試験	10/23	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
20	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/24	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/24	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
21	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/25	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/25	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
22	体育の日				10/26	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/26	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
23	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/27	祝日				10/27	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	大学祭(10/25~10/27)						
24	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/28	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/28	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
25	振替休日				10/29	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/29	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
26	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/30	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/30	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
27	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/31	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	10/31	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
28	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/1	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	11/1	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
29	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/2	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	11/2	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
30	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/3	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マイナード	I期再試験	11/3	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
31	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/4	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	11/4	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
休	冬期休業日				11/23	冬期休業日				11/23	冬期休業日				冬期休業日				冬期休業日					
休	冬期休業日				11/24	冬期休業日				11/24	冬期休業日				冬期休業日				冬期休業日					
32	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/25	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	11/25	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
33	成人の日				11/29	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	11/29	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
34	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/30	Ⅱ期試験				11/30	Ⅱ期試験				Ⅱ期試験				Ⅱ期試験					
35	Ⅱ期試験				12/1	Ⅱ期試験				12/1	Ⅱ期試験				Ⅱ期試験				Ⅱ期試験					
36					12/2	医学入門(エスコート実習、事前講習)				12/2														
37	Ⅱ期再試験				12/4	建国記念の日				12/4	Ⅱ期再試験				Ⅱ期再試験				Ⅱ期再試験					
38	Ⅱ期再試験				12/5	Ⅱ期再試験				12/5	Ⅱ期再試験				開学記念日				Ⅱ期再試験					
(1)	振替休日				12/22	地域福祉施設体験実習				12/22	地域福祉施設体験実習				地域福祉施設体験実習				地域福祉施設体験実習					
(2)	実習報告会				12/23	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	12/23	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能			
(3)	学年末休業日				12/24	学年末休業日				12/24	学年末休業日				学年末休業日				学年末休業日					
(4)	学年末休業日				12/25	卒業式				12/25	学年末休業日				学年末休業日				学年末休業日					

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					金曜日														
	日付	1限	2限	3限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限							
1	2/16	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	2/19	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	2/20	開学記念日					2/21	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	2/22	前期入試準備				
2	2/25	前期入試				2/26	前期入試				2/27	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	2/28	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属		
3	3/4	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/5	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/6	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	3/7	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
4	3/11	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/12	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	3/13	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	3/14	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	3/15	卒業式				
休	3/18	学年末休業日				3/19	学年末休業日				3/20	春分の日					3/21	学年末休業日				3/22	学年末休業日							
	3/25	学年末休業日				3/26	学年末休業日				3/27	学年末休業日					3/28	学年末休業日				3/29	学年末休業日							
	4/1	春期休業日				4/2	春期休業日				4/3	春期休業日					4/4	春期休業日				4/5	春期休業日(入学式)							
	4/8	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/9	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	4/10	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/11	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/12	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
6	4/15	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/16	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	健康診断	4/17	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/18	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/19	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	
7	4/22	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/23	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	4/24	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/25	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	4/26	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
8	4/29	昭和の日				4/30	祝日				5/1	祝日					5/2	祝日				5/3	憲法記念日							
9	5/6	振替休日				5/7	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	講義予備(TOEFL・ITPテスト)	5/8	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/9	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属		
10	5/13	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	5/14	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/15	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/16	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/17	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
11	5/20	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	5/21	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/22	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/23	病因と病態	病因と病態	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/24	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
12	5/27	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	5/28	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	5/29	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	5/30	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	5/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
13	6/3	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/4	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/5	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	6/6	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
14	6/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/11	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/12	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	基礎配属	基礎配属	6/13	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/14	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
15	6/17	試験				6/18	試験				6/19	試験					6/20	試験				6/21	試験							
16	6/24	試験				6/25	試験				6/26	試験					6/27	試験				6/28	試験							
17	7/1	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	7/2	病棟実習			基礎配属	基礎配属	7/3	病棟実習			基礎配属	基礎配属	7/4	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	7/5	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
18	7/6	生体と微生物	生体と微生物	特別講義(地域医療)	特別講義(交換講義)	特別講義(交換講義)	7/9	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/10	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	7/11	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	7/12	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
休	7/15	海の日				7/16	夏期休業日				7/17	夏期休業日					7/18	夏期休業日				7/19	夏期休業日							
	7/22	夏期休業日				7/23	夏期休業日				7/24	夏期休業日					7/25	夏期休業日				7/26	夏期休業日							
	7/29	夏期休業日				7/30	夏期休業日				7/31	夏期休業日					8/1	夏期休業日				8/2	夏期休業日							
	8/5	夏期休業日				8/6	夏期休業日				8/7	夏期休業日					8/8	夏期休業日				8/9	夏期休業日							
	8/12	夏期休業日				8/13	夏期休業日				8/14	夏期休業日					8/15	夏期休業日				8/16	夏期休業日							
	8/19	夏期休業日				8/20	夏期休業日				8/21	夏期休業日					8/22	夏期休業日				8/23	夏期休業日							
19	8/26	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/28	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/29	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	
20	9/2	生体と微生物	生体と微生物	特別講義(人権講義)	基礎配属	基礎配属	9/3	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	特別講義(人権講義)	講義予備	9/4	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	9/5	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/6	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
21	9/9	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/10	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/11	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	9/12	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/13	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日																																		
	日付	1限	2限	3限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限																										
22	9/16	敬老の日					9/17	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/18	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	9/19	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/20	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属																									
23	9/23	秋分の日					9/24	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/25	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	9/26	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	9/27	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属																									
24	9/30	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/1	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/2	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	10/3	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/4	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属																									
25	10/7	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/8	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/9	生体と薬物	生体と薬物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	10/10	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/11	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属																									
26	10/14	体育の日					10/15	人の死(法医学)	人の死(法医学)	慰霊祭			10/16	生体と薬物	生体と病畜動物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	10/17	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/18	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属																									
27	10/21	生体と微生物	生体と微生物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/22	祝日					10/23	生体と病畜動物	生体と病畜動物	生体と病畜動物	基礎配属	基礎配属	10/24	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	10/25	大学祭(10/25～10/27)																													
28	10/28	生体と微生物	生体と微生物	講義予備	基礎配属	基礎配属	10/29	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	10/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	11/1	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属																									
29	11/4	祝日					11/5	薬理学実習					11/6	薬理学実習					11/7	薬理学実習					11/8	薬理学実習																													
30	11/11	薬理学実習					11/12	薬理学実習					11/13	薬理学実習					11/14	薬理学実習					11/15	薬理学実習																													
31	11/18	薬理学実習					11/19	講義予備日					11/20	講義予備日					11/21	微生物学実習					11/22	微生物学実習																													
32	11/25	微生物学実習					11/26	微生物学実習					11/27	微生物学実習					11/28	微生物学実習					11/29	微生物学実習																													
33	12/2	微生物学実習					12/3	微生物学実習					12/4	微生物学実習					12/5	微生物学実習					12/6	微生物学実習																													
34	12/9	試験					12/10	試験					12/11	試験					12/12	試験					12/13	試験																													
35	12/16	試験					12/17	試験					12/18	試験					12/19	試験					12/20	試験																													
休	12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日					12/25	冬期休業日					12/26	冬期休業日					12/27	冬期休業日																													
休	12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日					1/1	冬期休業日					1/2	冬期休業日					1/3	冬期休業日																													
36	1/6	再試験(基礎配属)					1/7	再試験(基礎配属)					1/8	再試験(基礎配属)					1/9	再試験(基礎配属)					1/10	再試験(基礎配属)																													
37	1/13	成人の日					1/14	再試験(基礎配属)					1/15	再試験(基礎配属)					1/16	再試験(基礎配属)※4年OSCE(講義室使用不可)					1/17	基礎配属報告会																													
38	1/20	臨床医学講義(※)					1/21	臨床医学講義(※)					1/22	臨床医学講義(※)					1/23	臨床医学講義(※)					1/24	臨床医学講義(※)																													
39	1/27						1/28						1/29						1/30						1/31																														
40	2/3						2/4						2/5						2/6						2/7																														
41	2/10						2/11						2/12						2/13						2/14																														
42	2/17						2/18						2/19						2/20						2/21																														
43	2/24						2/25						2/26						2/27						2/28																														
44	3/2						3/3						3/4						3/5						3/6																														
45	3/9						3/10						3/11						3/12						3/13																														
休	3/16						学年末休業日						3/17						学年末休業日(卒業式)						3/18						学年末休業日					3/19	春分の日					3/20	学年末休業日												
休	3/23						学年末休業日						3/24						学年末休業日						3/25						学年末休業日					3/26	学年末休業日					3/27	学年末休業日												

※1/21からの臨床医学講義については未定の部分がありますので、決まり次第追ってお知らせします。

5年生(Ⅸ・Ⅹ期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

2月4日(月)~2月8日(金) 1W オリエンテーション
 2月12日(火)~8月2日(金) 24W 臨床実習
 9月2日(月)~12月20日(金) 16W 臨床実習
 1月14日(火)~2月7日(金) 4W 臨床実習

6年生(Ⅺ・Ⅻ期)カリキュラム

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

2月18日(月)~4月26日(金) 9W 選択制臨床実習
 5月20日(月)~7月19日(金) 9W 選択制臨床実習
 7月23日(火) 1限~2限 衛生学・公衆衛生学
 3限 Post-CC OSCE 説明会
 4限 知的財産権
 5限 棄権問題

7月24日(水) Post-CC OSCE
 (Post Clinical Clerkship OSCE)
 7月25日(木) Post-CC OSCE 予備日
 9月~11月 卒業試験

※気象警報発令等によりPost-CC OSCEが延期となった場合の日程
 8月27日(火) Post-CC OSCE
 8月28日(水) Post-CC OSCE 予備日

基礎配属報告会について（概要）

■ 概要

日 時：令和2年1月17日（金） 8:45～16:50

※採点機の操作確認を行いたいため、8:40には着席をお願いします。

※詳細スケジュール、座席表は別紙参照

場 所：講堂

対 象：3年生（発表） 2年生（聴講）

座長教室：解剖学第一講座、分子遺伝学講座及び衛生学講座

■ 発表

発表時間：発表 5分 質疑応答 2分 入替 1分

※当日は、タイムキーパーが、経過時間をお知らせ。

（4分（発表時間残り1分）、5分及び7分経過時）

※時間が押さないように、発表が5分で収まるようご指導ください。

発表の流れ：①前グループの発表者が登壇したら、次発表者席に座る。

②前グループの発表が終わったら、速やかに舞台向かって左の階段から登壇し、演題に置いてあるパソコンで、自グループの発表スライドを開き、発表を始める。

③発表が終わったら、自グループの発表スライドを閉じ、速やかに降壇し、自分の席に戻る。

※報告会開始時や休憩後、先頭及び2番目に発表するグループは、開始時間に舞台上・次発表者席にそれぞれ控えておく。

■ 採点

採点者：基礎配属の指導教員（各所属1名） 19名

教育研究開発センター長

学生（発表グループ単位で採点）

※ただし、自グループ及び自分と同じ配属先のグループは採点しない。

採点方法：クリッカーを利用して採点。

採点ルール：①5点満点（1点～5点の間）で採点する。

②自教室のグループ発表は採点しない。

③各教室にクリッカーを1つ配付。各教室代表者が採点する。

④採点は、1つの発表が終わるごとに行う。

※代表者を交代する等は、各教室にお任せします。

※採点機（クリッカー）による集計作業の都合上、各所属の採点者は指定された座席にご着席ください。（解剖学1の採点者→Aの座席に座る。当日は座

席の手すりにアルファベットを記載した紙を貼っておきます)
※採点機（クリッカー）の使用方法は別紙を参照ください。

■ 抄録

学内向けページからダウンロードをお願いします。

※URL : http://www1.wakayama-med.ac.jp/index_sonota.html
(学内向けメニュー> その他> 基礎配属報告会)

■ 発表スライドの提出

提出 : Microsoft PowerPoint で作成すること。

(ファイルのタイトルは、「(所属教室名) (演題名) スライド」としてください。)

締切日 : 令和2年1月9日(木) 16:00

提出先メールアドレス : k-center@wakayama-med.ac.jp

※ 当日のPC等環境

OS (Windows10)

画面比率 (16:9での作成を推奨。4:3でも表示されます。)

使用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint 2019)

◎文字化け等起こらないか、同様の環境等で動作確認しておいてください。

(特に、別のOS環境やソフトで作成する場合は注意してください。)

※ 音声・動画を使用する場合は、事前の動作確認を必須とします。上記メールアドレスにその旨連絡してください。

※ 成果物として、抄録と発表スライドを冊子にします。発表後、スライドを修正する場合は、2月12日(水)までに差替版を提出してください。

■ 表彰

優秀賞 5グループ程度 賞状 記念品

■ その他

当日、学生は体調不良等で欠席する場合、配属先教室、学生課、同じグループの学生に必ず連絡を入れる。

学生通知(4年生)

『特別講義』の実施について

下記のとおり、特別講義を行いますので、お知らせします。

記

- 日時：令和元年10月11日(金) 4限
- 開会挨拶：和歌山県医師会 理事 榎本 多津子
- 講演：「医学生のためのキャリア入門
～自分の未来をデザインしよう～」
- 演者：広島大学医学部附属医学教育センター
教授・副センター長 蓮沼 直子

令和元年 7月26日

学 生 課

学生通知(4年生)

『特別講義』の実施について

下記のとおり、特別講義を行いますので、お知らせします。

記

■日時：令和元年10月18日(金)4・5限

■講師：和歌山ろうさい病院

救急科部長 岩崎 安博

■テーマ：和歌山県における災害対策と
医療について

令和元年9月26日

学 生 課

【2019年度ケアマインド教育スケジュール】

	テーマ	講師	2019年度 担当教員
4月16日	医学部：（健康診断）、保健看護学部：早期体験実習		
4月23日	医学入門	—	
4月30日	祝日		
5月7日	TOEFL-ITP(医学部)		
5月14日		予備日	村田先生
5月21日	オリエンテーション 脊髄損傷（1コマ）		
5月28日	WG	—	村田先生
6月4日	医療人類学(和歌山の人々の暮らし)	近畿大学教授 藤井弘章先生	山口先生
6月11日	がん		柳川先生
6月18日	脊髄損傷発表		村田先生 森先生
6月25日	小児医療	森ノ宮医療大学 伊藤直子先生	山口先生
7月2日	医療ネグレクト+WG		柳川先生
7月9日	医療人類学		山口先生
8月27日	医学部：（医学入門）、保健看護学部：夏期休暇		
9月3日		予備日	
9月10日	医学部：試験期間、保健看護学部：補講期間		
9月17日	医学部：試験期間、保健看護学部：試験期間		
9月24日	医学部：医学入門、保健看護学部：試験期間		
10月1日	チーム医療		水越先生
10月8日	視覚障がい		柳川先生
10月15日	医療人類学WG1		山口先生
10月22日	祝日		
10月29日	医療人類学WG2		山口先生
11月5日	医療人類学発表		山口先生
11月12日	ALS		村田先生 竹山先生
11月19日	ダウン症	宮本鍼灸指圧院 宮本敏企 様	村田先生
11月26日	薬害（B型肝炎）	全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団	村田先生
12月3日	ALS・B肝・ダウン症WG		村田先生
12月10日	ALS・B肝・ダウン症発表		村田先生

医学英語〈PM〉

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教員名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

耳鼻咽喉科学講座 准教授 **グンデゥズ・メーメット**

耳鼻咽喉科学講座 **グンデゥズ・エスラ**

遺伝子制御学研究部 Mellissa Alcantara

大森千尋

I 一般学習目標

医学に特化して、学術目的の英語力を磨き、習熟する。アカデミックな英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方を習得する。

II 個別学習目標

1. 医学に特化した、アカデミックな英語を正しく理解する
2. 医療関連の記事の内容を理解する
3. 医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 医学に特化した学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方を学ぶ
7. 医学に特化した学術英語語彙の語源を理解する
8. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 国際保健の現場を知る
10. 医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・総合医学英語を教授する（廣田麻子 4月8日月曜5限、4月15日月曜5限、4月22日月曜5限、5月13日月曜5限、5月20日月曜4・5限、5月27日月曜4・5限）
- ・臨床の場で使われる英語の語彙を教授する（グンデゥズ・メーメット 4月16日月曜4・5限）
- ・臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する（グンデゥズ・エスラ&廣田麻子 4月15日月曜4限）
- ・最新の発生医学研究を踏まえたAdvanced Medical English Lesson を教授する（Mellissa Alcantara&廣田麻子 4月8日月曜4限）
- ・国際保健の現場の様子を教授する（大森千尋&廣田麻子 4月22日月曜4限）

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験80%、提出物20%で評価する。3分の2以上の出席が必須である。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『総合医学英語テキスト Step1』（メジカルビュー社）

参考書：松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』（東洋出版）、水谷智洋『古典ギリシア語初歩』（岩波書店）

遺伝子と遺伝子異常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

分子遺伝学講座 教授 井上 徳光

教 員 名

分子遺伝学講座

教授 井上 徳光

講師 片山 圭一

総合周産期母子医療センター

准教授 南 佐和子

講師 熊谷 健

周産期医療支援学講座

助教 太田 菜美

I 一般学習目標

各種の遺伝性疾患について病態の理解、臨床診断、分子遺伝学的検査の計画とその結果の評価、および遺伝カウンセリングができるようになるために、遺伝医学の基礎およびその概念を習得する。

II 個別学習目標

1. 遺伝医学の習得の重要性について説明できる。
2. 講義中に紹介される典型的な遺伝性疾患の発症機序、症状、臨床所見、診断のための検査法、予防手段および治療法等を説明できる。
3. 遺伝子多型 (polymorphism) の定義、検出方法およびその利用方法を説明できる。
4. 集団遺伝学の基本概念および Hardy-Weinberg の法則の説明ができる。
5. 変異の種類とその生じ方について説明できる。
6. 機能獲得型変異 (gain-of-function mutation)、機能喪失型変異 (loss-of-function mutation)、優性阻害型変異 (dominant-negative mutation) について、遺伝形式との関連性を含めて説明できる。
7. ハプロ不全 (haploinsufficiency) と 2 ヒットモデルを理解し、これらの機構によって発症する疾患について説明できる。
8. 常染色体性優性遺伝、常染色体性劣性遺伝、X 染色体連鎖性遺伝、Y 染色体連鎖性遺伝等の本質を説明し、それぞれに属す疾患の診断と遺伝カウンセリングに対応できる。
9. 座位異質性 (locus heterogeneity)、アレル異質性 (allelic heterogeneity) 等の専門用語について説明できる。
10. 多面発現 (pleiotropy)、表現度 (expressivity)、浸透率 (penetrance) について具体例も含めて説明できる。
11. 体細胞モザイクと生殖細胞系列モザイクについて理解し、それらが遺伝性疾患の発症に及ぼす影響を説明できる。
12. ミトコンドリア DNA の変異によって生じる遺伝性疾患の特質を説明でき、この遺伝様式を持つ疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
13. ゲノムインプリンティングや X 染色体不活性化の本質およびその異常による遺伝性疾患を説明できる。
14. 塩基反復配列の延長による疾患および表現促進現象 (anticipation) の本質を説明でき、この部類に属す遺伝性疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
15. 染色体異常に基づく遺伝性疾患の発症機序につき説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
16. 先天性代謝異常症の発症機序を説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
17. 連鎖解析、連鎖不平衡解析、ゲノムワイド関連解析、エクソーム解析等を用いた遺伝性疾患の同定法について説明できる。
18. 個体発生の主な分子機構およびその異常により生じる疾患を遺伝子レベルで説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
19. 生殖細胞系と体細胞系のそれぞれにおける遺伝子異常が引き起こす疾患の相違点を説明できる。
20. がん遺伝子、がん抑制遺伝子および DNA 修復遺伝子の機能を概説できる。
21. 腫瘍発生に関する遺伝要因と環境要因を概説できる。
22. 遺伝性腫瘍の本質に基づき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
23. 多因子疾患の特徴を理解し、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
24. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。

25. 遺伝子治療を、種々の手法の特徴を含めて説明できる。
26. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。
27. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。
28. がんの遺伝子検査と分子標的薬の選択法について説明できる。
29. 遺伝性疾患の診断のために臨床上必要な遺伝学的解析方法を選択してその結果を的確に説明できる。
30. 新生児スクリーニング、保因者スクリーニング、および発病リスク検査等について意義、効果、および手技につき説明できる。
31. 出生前診断の意義、手法、解釈について説明できる。
32. 家系図を作成し、遺伝性疾患の再発率を Bayes の定理等を応用して評価できる。
33. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
34. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。

III 教育内容

教科書として福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学」 メディカル・サイエンス・インターナショナルを使用する。

○講義項目と担当者

	担当者	コマ数
ヒトの遺伝学的多様性：変異と多型（第4章）	井上	1
単一遺伝子疾患（第7章）	片山	3
遺伝性疾患の分子遺伝学原理（第11章）		
臨床細胞遺伝学と染色体異常（第5, 6章）	井上	2
ヒト疾患における遺伝学的基礎（第10章）	片山	2
遺伝性疾患の分子細胞生物学的基礎（第12章）	井上	1
多因子疾患の遺伝学（第8章）	片山	1
集団における遺伝学的多様性（第9章）		
発生遺伝学と先天異常（第14章）	井上	1
腫瘍遺伝学と腫瘍ゲノム学（第15章）	井上	1
遺伝性疾患の治療（第13章）	井上	1
個別化医療（第18章）		
新生児スクリーニング（第18章）	熊谷	1
出生前診断（第17章）	太田	1
遺伝カウンセリングと倫理的社会的課題（第16,19章）	南	1

IV 学習および教育方法

講義形式による。Power Pointスライド、板書、プリント、書画カメラ等を利用する。

V 評価の方法

1. 筆答試験を行い、60点以上（100点満点）を合格とする。
2. 講義につき2/3以上の出席のない者は該当する試験を受けることができない。（出席は名簿への署名により厳格に取り扱う。偽署名が判明した場合は3回分の欠席とみなす。天災、病気、事故、通学列車の運行遅延、忌引き等による欠席は公的証明書に基づき欠席扱いとはしない。）
3. 授業中に随時小テストを行うこともある。

VI 推薦する参考書

- 福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学」第2版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 村松正實、木南 凌、笹月健彦、辻省二 監訳 「ヒトの分子遺伝学」第4版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 菅野純夫、福嶋義光 監訳 「ゲノム医学 ゲノム情報を活かす医療のために」 メディカル・サイエ

ンス・インターナショナル

- 服部成介、水島一菅野純子 「よくわかるゲノム医学」 羊土社
- 渡邊淳 「診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学」 羊土社
- 水島一菅野純子 「マンガでわかるゲノム医学」 羊土社
- Jorde, Carey, Bamshad 「Medical Genetics」 Elsevier

臨床実習日程
(平成29年2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月20日 ～ 3月3日	2/20開学記念日
2	3月6日 ～ 3月17日	
3	4月3日 ～ 4月14日	
4	4月17日 ～ 4月28日	
5	5月8日 ～ 5月19日	
6	5月22日 ～ 6月2日	
7	6月5日 ～ 6月16日	
8	6月19日 ～ 6月30日	
9	7月3日 ～ 7月14日	
10	7月17日 ～ 7月28日	7/17海の日
11	9月11日 ～ 9月22日	9/18敬老の日
12	9月25日 ～ 10月6日	
13	10月9日 ～ 10月20日	10/9体育の日
14	10月23日 ～ 11月3日	11/3文化の日
15	11月6日 ～ 11月17日	
16	11月20日 ～ 12月1日	11/23勤労感謝の日
17	12月4日 ～ 12月15日	
18	12月18日 ～ 12月29日	
19	1月15日 ～ 1月26日	
20	1月29日 ～ 2月9日	
21	2月12日 ～ 2月23日	2/12振替休日 2/20開学記念日
22	2月26日 ～ 3月9日	
①	3月12日 ～ 3月30日	3/21春分の日
②	4月2日 ～ 4月20日	
休	4月23日 ～ 5月11日	春休み及び臨時休業
③	5月14日 ～ 6月1日	
④	6月4日 ～ 6月22日	
⑤	6月25日 ～ 7月13日	

臨床実習日程
(2018年(平成30年)2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月12日 ～ 2月23日	2/12振替休日 2/20開学記念日
2	2月26日 ～ 3月9日	
3	3月12日 ～ 3月23日	3/21春分の日
4	3月26日 ～ 4月6日	
5	4月9日 ～ 4月20日	
6	4月23日 ～ 5月11日	4/30振替休日 5/3憲法記念日 5/4みどりの日
7	5月14日 ～ 5月25日	
8	5月28日 ～ 6月8日	
9	6月11日 ～ 6月22日	
10	6月25日 ～ 7月6日	
11	7月9日 ～ 7月20日	7/16海の日
12	7月23日 ～ 8月3日	
13	9月10日 ～ 9月21日	9/17敬老の日
14	9月24日 ～ 10月5日	9/24振替休日
15	10月8日 ～ 10月19日	10/8体育の日
16	10月22日 ～ 11月2日	
17	11月5日 ～ 11月16日	
18	11月19日 ～ 11月30日	11/23勤労感謝の日
19	12月3日 ～ 12月14日	
20	12月17日 ～ 12月28日	12/24振替休日
21	1月14日 ～ 1月25日	
22	1月28日 ～ 2月8日	
①	2月18日 ～ 3月8日	2/20開学記念日
②	3月11日 ～ 3月29日	3/21春分の日
③	4月8日 ～ 4月26日	
休	4月29日 ～ 5月17日	春休み及び臨時休業
④	5月20日 ～ 6月7日	
⑤	6月10日 ～ 6月28日	
⑥	7月1日 ～ 7月19日	7/15海の日

希望する診療科・期間に名前を記入してください。(締切11月13日(火))

平成31年度(2019年度) 6年次選択ポリクリ(院外) 受入人数一覧

施設名	診療科名	2019年 2/18~3/8 (3週間)	2019年 3/11~3/29 (3週間)	2019年 4/8~4/26 (3週間)	2019年 5/20~6/7 (3週間)	2019年 6/10~6/28 (3週間)	2019年 7/1~7/19 (3週間)
紀北分院	総合診療科	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	整形外科・脳外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
こころの医療センター	精神科	0人	0人	0人	0人	4人	0人
和歌山病院	呼吸器内科	2人	2人	2人	2人	2人	0人
橋本市民病院	循環器内科	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	産婦人科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	呼吸器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	乳腺呼吸器外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	0人	1人	1人	1人	0人
	歯科口腔外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	総合内科	0人	0人	0人	3人	3人	3人
	公立那賀病院	内科	2人	0人	2人	0人	2人
外科		0人	0人	0人	1人	0人	0人
呼吸器内科		0人	0人	1人	1人	1人	1人
呼吸器外科		2人	2人	2人	2人	2人	2人
整形外科		2人	0人	0人	2人	2人	2人
腎臓内科		1人	1人	1人	1人	1人	1人
耳鼻咽喉科		0人	0人	0人	1人	0人	0人
和歌山労災病院 ※受入可能人数については、診療科に係らず、最大合計8名まで。	麻酔科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	耳鼻咽喉科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	呼吸器内科	0人	1人	0人	0人	1人	1人
	消化器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	血液内科	1人	0人	0人	0人	1人	0人
	神経内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
済生会和歌山病院	糖尿病・代謝内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	消化器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	心臓血管外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	消化器外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人

希望する診療科・期間に名前を記入してください。(締切11月13日(火))

平成31年度(2019年度) 6年次選択ポリクリ(院外) 受入人数一覧

施設名	診療科名	2019年 2/18~3/8 (3週間)	2019年 3/11~3/29 (3週間)	2019年 4/8~4/26 (3週間)	2019年 5/20~6/7 (3週間)	2019年 6/10~6/28 (3週間)	2019年 7/1~7/19 (3週間)
海南医療センター 1クール最大6名(男3、女3)で調整要。	整形外科	1人	0人	1人	1人	1人	0人
	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	皮膚科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	泌尿器科	1人	0人	1人	1人	1人	1人
	婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
有田市立病院	整形外科	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	内科	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	泌尿器科	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	外科	1人	0人	1人	0人	1人	0人
済生会有田病院	受け入れ不可						
国保日高総合病院	産婦人科	0人	2人	0人	0人	0人	2人
	循環器内科	2人	0人	2人	0人	2人	0人
	第一内科(消化器)	2人	0人	0人	2人	0人	0人
	第二内科(内分泌)	0人	0人	0人	0人	2人	2人
南和歌山医療センター ※宿泊施設を利用する場合は、1人部屋×2、4人部屋×1の最大6名までとなっている為、男女の人数調整要。	内科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	脳神経外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	整形外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	胸部・心臓血管外科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	救命救急科	2人	2人	2人	2人	2人	2人
紀南病院	内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	循環器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	心臓血管外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	1人	1人	0人	0人	0人	0人
国保すさみ病院	総合診療(内科・外科)	1人	0人	0人	0人	1人	0人
那智勝浦温泉病院	整形外科	0人	1人	1人	1人	0人	1人
	内科	0人	0人	0人	2人	2人	2人
	リハビリテーション科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
新宮市立医療センター	内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	神経内科	1人	1人	1人	0人	1人	1人
	循環器内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	脳神経外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	整形外科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	腎臓内科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	小児科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	産婦人科	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	外科	0人	0人	0人	1人	1人	1人
	泌尿器科	1人	1人	1人	1人	1人	1人

基礎医学英語 〈 P M 〉

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教 員 名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

耳鼻咽喉科学講座 准教授 **グンデゥズ・メーメット**

非常勤講師 勝又泰洋

耳鼻咽喉科学講座 **グンデゥズ・エスラ**

遺伝子制御学研究所 Alvin Acebedo

大森千尋

I 一般学習目標

一般学術目的の英語力を磨き、習熟する。基礎的な一般学術英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方の基礎を習得する。

II 個別学習目標

1. 基礎的な一般学術英語を正しく理解する
2. 基礎的な医療関連の記事の内容を理解する
3. 基礎的な医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 基礎的な学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方の基礎を学ぶ
7. 学術英語語彙の語源を理解する
8. 学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 基礎的な国際保健の現場を知る
10. 基礎的な医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・ 基礎的な総合医学英語を教授する（廣田麻子 11月12日火曜5限、11月19日火曜5限、11月26日火曜5限、12月3日火曜5限、12月10日火曜4・5限、12月17日火曜4・5限）
- ・ 臨床の場で使われる基礎的な英語の語彙を教授する（グンデゥズ・メーメット 12月3日火曜4限）
- ・ ギリシア語・ラテン語に触れながら、学術英語語彙の語源を教授する（勝又泰洋 11月1日金曜4・5限、11月8日金曜4・5限、11月15日金曜4・5限、11月22日金曜4・5限、11月29日金曜4・5限）
- ・ 臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する（グンデゥズ・エスラ&廣田麻子 11月26日火曜4限）
- ・ 最新の発生医学研究を踏まえたPractical Medical English Lesson を教授する（Alvin Acebedo&廣田麻子 11月12日火曜4限）
- ・ 国際保健の現場の様子を教授する（大森千尋&廣田麻子 11月19日火曜4限）

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験80%、提出物20%で評価する。3分の2以上の出席が必須である。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『講義録 医学英語Ⅱ 科学英語への扉』（メジカルビュー社）

参考書：吉田和彦『語源で覚える医学英語辞典』（東京：メジカルビュー社、1995年）

平井美津子『語源で学ぶメディカル・イングリッシュ 550』（東京：南雲堂、2011年）

令和元年度第1回

教育研究開発センターカリキュラム専門部会(医学部委員会)議事録〈抜粋〉

■ 日 時：令和元年6月13日(木) 18:00～

〈〈議 題〉〉

1 臨床実習について

《事務局から、資料に基づき説明。》

(村田委員)

今の現5年生に関しては、冬休みの期間が短いので週数を増やして欲しいという学生委員からの要望があり、夏休みを5週から4週にし、冬休みを2週から3週にしました。上の学年でそういった議論があったが、今回来てくれている学生委員の皆さんにも意見を伺いたい。先ほどの説明の補足で、選択実習18週とあるが、これは6クールで院内の外科・内科、院外の外科の内科を回るが、院外は最大3クールまでしか回ることができない。また、春休みも西医体の関係により、春休みを3週としている。学生委員の皆さんの意見はどうか。

(事務局)

以前は5年生と6年生の間に1週休みを入れていたが、今は、5年生と6年生のポリクリと選択ポリクリの間に休みを入れずに引き続き行い、3月の23日と30日の週を春休みとしています。

(学生委員)

昨年度は、学生の意見を反映して冬休みを増やしているというのを考えて、夏休みを4週にして、冬休みを3週にさせていただければと思います。

(村田委員)

ということは、昨年度の意見と同じですね。

(学生委員)

個人の意見になってしまいますが、休みは2週連続になる方がありがたいです。昨年度と同じで大丈夫です。

(事務局)

それでは、5年生と6年生のポリクリを続けてということで良いですか。

(学生委員)

それで大丈夫です。

臨床実習後客観的臨床能力試験 (Post-CC OSCE) 実施計画

- 日時 ◆本試験 1日目 令和元年7月24日(水) 9:00~17:33
2日目 令和元年7月25日(木) 9:00~12:33
◆再試験 令和元年8月 5日(月)
- 場所 ◆実施会場: OSCE 研修室(高度医療人育成センター4F)
- 受験者 ◆医学部6年生 102名 (追・再試験は該当学生のみ)

2019年度 卒業試験（第1回）

解答及び解説

※解説付き臨床検査医学、消化器系（第二外科分）

レスポンス・アナライザー（クリッカー）利用状況

2019年4月13日	研究会	皮膚科学講座	神人先生
2019年6月6日	神経内科学	脳神経内科学講座	石口先生
2020年1月17日	基礎配属報告会	教育研究開発センター	村田先生

ナビゲーション

- Home
- マイホーム
- サイトページ
- マイプロフィール
- 現在のコース
 - PoliCli
 - 参加者
 - バッジ
 - お知らせ
 - 臨床実習
 - 臨床実習共通評価表～2020年2月7日
 - 一覧表示
 - 個別表示
 - 検索
 - 臨床実習共通評価表2020年2月10日～
 - 臨床実習 (選択制)
 - 【試験運用中】科別評価表2020年2月10日～
- マイコース

管理

- データベース活動管理
 - 設定を編集する
 - ローカルに割り当てられるロール
 - パーミッション
 - パーミッションをチェックする
 - フィルタ
 - ログ
 - バックアップ
 - リストア
 - エントリを追加する
 - エントリをエクスポートする
 - エントリをインポートする
 - テンプレート
 - フィールド
 - プリセット
- コース管理
- ロールを切り替える...
- マイプロフィール設定
- サイト管理

臨床実習共通評価表～2020年2月7日

2019年度臨床実習共通評価表

一覧表示 個別表示 検索 エントリを追加する エクスポート テンプレート フィールド プリセット

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ...213 (次へ)

Gr No	学生氏名	病歴聴取	身体診察	患者把握	症例提示	疾患の医学的理解	コミュニケーション	プロフェッショナリズム	コメント・備考欄	講座名
J171	藤川 悠樹	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的		脳神経内科学 指導医
J172	佐藤 真	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的		脳神経内科学 指導医
J173	山本 隆成	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的		脳神経内科学 指導医
J174	横川 悠樹	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的		脳神経内科学 指導医
J175	山本 隆成	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的	B.平均的		脳神経内科学 指導医

J176	山本 隆成	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	B.平均的	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	中止待ちの項目があるため、評価を記載しません。	内科学 (4・循) 指導医
J177	山本 隆成	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	B.平均的	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	項目は色を有するものです。今回は非常に熱心に取組んでいました。内科的診断の考え方や病歴の深さを分かったようです。	内科学 (4・循) 指導医
J178	山本 隆成	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	B.平均的	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	以後の科々もこのパフォーマンスが続くよう、お励みください。	内科学 (4・循) 指導医
J179	山本 隆成	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	B.平均的	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	A.学生としてよくできるレベル	中止待ちの項目があるため、評価を記載しません。	内科学 (4・循) 指導医

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ...213 (次へ)

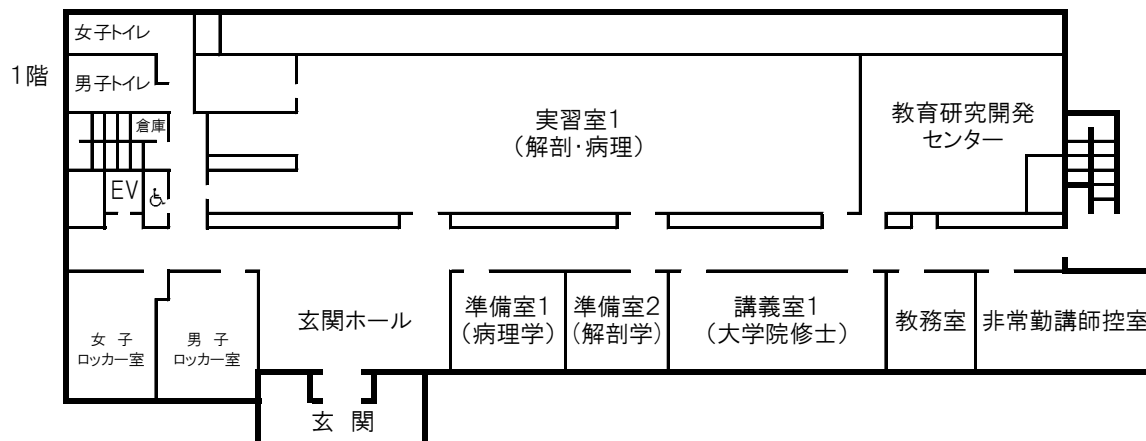
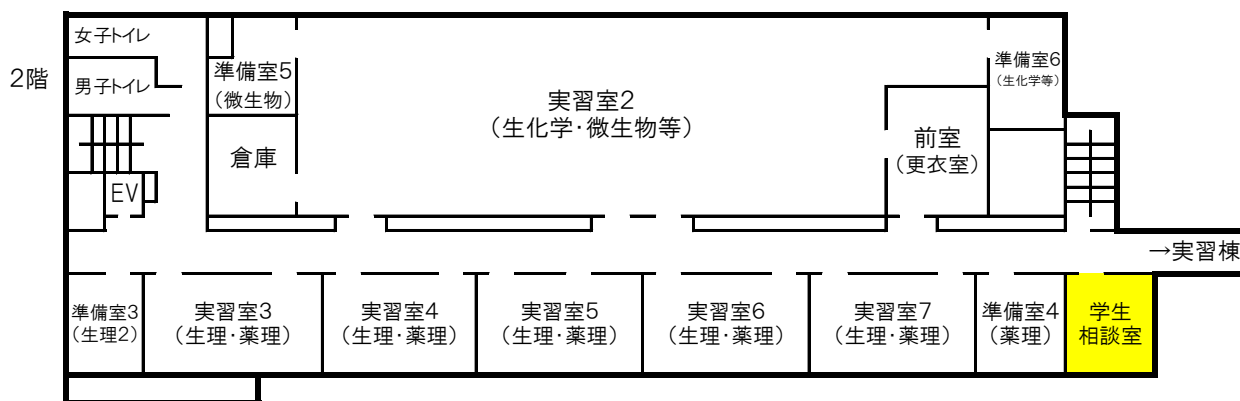
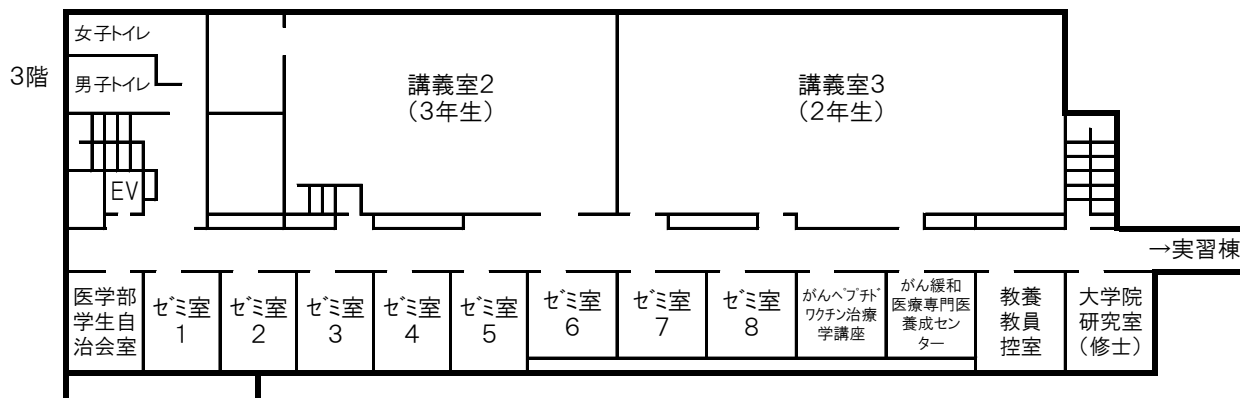
1ページあたりのエントリ数 10 検索 並び替え 追加日時 昇順 高度な検索 設定を保存する

担任制について

担任制の概要

- 1 対象学年は1年生・2年生とする。
- 2 1年生は教養、2年生は基礎系の教員を担当とする。
- 3 教員一人当たりの学生数を原則として10名未満とする。
- 4 留年生は教務学生委員会委員を担当とする。
- 5 担任の役割は以下のとおりとする。
 - (1) 修学面、生活面（経済的なものを含む）、健康面の相談窓口となる。
 - (2) 学生の修学、生活、健康上の状況を把握し、学生部長に報告する。
 - (3) 欠席が多い学生と面談を行う。
 - (4) 成績不振者と面談を行う。

基礎教育棟



医学部教員男女別人数(平成27年度・令和元年度)

平成27年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		313	44	42	89	138
	男	269	43	38	78	110
	女	44	1	4	11	28

女性の比率 14.1%

平成31年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		352	50	57	89	156
	男	295	48	47	78	122
	女	57	2	10	11	34

女性の比率 16.2%

和歌山県立医科大学教員選考規程

制 定 昭和 47 年 1 月 25 日 和医大規程第 1 号
最終改正 平成 27 年 6 月 5 日 和医大規程第 23 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における教授、准教授、専任の講師、及び助教（以下「教員」という。）の選考について必要な事項を定めるものとする。

(選考)

第 2 条 教員の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) 教員が定年又は任期満了により退職し、後任を採用する必要があるとき。
- (2) 教員からの退職の申出を理事長が受理し、後任を採用する必要があるとき。
- (3) 教員の増員又は上位職への振替えの必要があるとき。
- (4) その他教員が欠員となり後任を採用する必要があるとき。

(教授の資格)

第 3 条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授の経歴のある者
- (5) 大学において准教授の経歴があり、教育研究上の業績があると認められる者
- (6) 芸術、体育等について、特殊の技能に秀で、教育の経歴がある者
- (7) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の資格)

第 4 条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 前条に規定する教授となることができる者
- (2) 大学において准教授又は専任の講師の経歴がある者
- (3) 大学において 3 年以上助教又はこれに準ずる職員としての経歴がある者
- (4) 修士の学位又は学位規則第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (5) 研究所、試験所、調査所等に 5 年以上在職し、研究上の業績があると認められる者
- (6) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(専任の講師の資格)

第 5 条 専任の講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第 3 条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、教育研究上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第6条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 第3条各号又は第4条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修業年限を6年又は4年とする大学を卒業した者で、専攻分野について、十分な知識及び経験を有すると認められる者

(選考の方法)

第7条 教員の選考方法については、教育研究審議会において別に定める。

(規程の改正)

第8条 この規程の改正は、教育研究審議会の審議を経て学長がこれを行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年1月25日から施行する。
- 2 和歌山県立医科大学教員選考基準に関する規程（昭和24年和歌山県立医科大学規程第27号）は、廃止する。

附 則（平成16年4月1日和医大規程第78号）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日和医大規程第83号）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月23日和医大規程第29号）

- 1 この規程は、平成21年6月23日から施行する。
- 2 保健看護学部については、当分の間、第6条各号に定めるもののほか、修業年限を3年とする大学等を卒業した者で、専攻分野について十分な知識と経験を有すると認められる者を助教の資格とすることができる。

附 則

この規程は平成27年6月5日から施行し、改正後の和歌山県立医科大学教員選考規程の規定は、同年4月1日から適用する。



ホーム > 図書館・関連施設 > ワークライフバランス支援センター

図書館・関連施設

- トップページ
- 図書館
 - > 紀三井寺館
 - > 三島館
- センター
 - > 国際交流センター
 - > 生涯研修センター
 - > 健康管理センター
 - > 教育研究開発センター
 - > 臨床技能研修センター
 - > 卒後臨床研修センター
 - > 地域医療支援センター
 - > ワークライフバランス支援センター
 - > みらい医療推進センター
- 共同利用施設
 - > RI実験施設
 - > 中央研究機器施設
 - > 動物実験施設
- その他
 - > 高度医療人育成センター

ワークライフバランス支援センター



- センター長あいさつ
- ワークライフの両立のために
- 復職支援について
- センターについて
- 附属病院託児施設 クレヨン保育園に関して (園児募集や各種通知等はこちら)
- 女性医師キャリア継続支援について

令和3年度のクレヨン保育園 新規園児募集について

令和2年10月1日(木)から30日(金)の期間で、令和3年度にクレヨン保育園へ入園を希望する園児の募集を行います。昨年度とは時期が異なっておりますのでご注意ください。
詳細は、下記のクレヨン保育園のページをご覧ください。
令和2年度の入園については、すでに募集期間が終了しました。
現在定員に空きがありません。

- 附属病院託児施設 クレヨン保育園

センター長あいさつ



近年、女性の医療従事者が増加し、結婚を契機にそれまでの仕事と出産・育児の両立が難しくなったり、また男性・女性を問わず、高齢者社会の中で家族の介護等で多忙な医療職を継続することが困難になったりする場合があります。
仕事とこれらの状況を両立させるための職場環境の体制整備が十分でない、大学病院等の第一線の職場を離職せざるを得ないケースも珍しくなく、このことは深刻な医療従事者不足の要因になるばかりでなく、何よりも個々のキャリア形成の妨げとなり、専門職としての能力を発揮できないことに繋がります。

これらを根本的に解消するため、これまで本学にあった女性医療人支援センターをさらに発展的に拡大し、2017年4月よりワークライフバランス支援センターが設置されました。
センターでは、本学のすべての職員を対象にワークライフバランス（仕事と生活の調和）の支援を行っています。具体的には、職員の出産・育児・介護等と仕事の両立支援および職場復帰支援、女性医師のキャリア継続支援、院内託児施設の充実・学童保育等の実施、多様な就労条件の提供、相談窓口の設置などを通じて、男性・女性を問わず、すべての職員が気持ちよく前向きに働き続けられるような職場環境の構築を目指し、継続的なキャリアアップが実現するよう支援していきたいと思っております。今後とも、当センターの取組にご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ワークライフバランス支援センター
センター長 井篁 一彦

ページのトップへ

センターについて

平成29年4月から女性医療人支援センターが「ワークライフバランス支援センター」にリニューアルしました。
本学の職員のみならず、ひとりひとりがいきいきと働き充実した生活を送れる「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）実現を支援することができるよう『爽でよう！ワークとライフのハーモニー♪』をコンセプトに、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

フタツツ紹介

■ ペアアップ紹介

センター長	井筒 一彦	和歌山県立医科大学産科・婦人科学講座 教授（兼任）
副センター長	島 友子	和歌山県立医科大学小児科学講座 講師（兼任）
主幹	武用 百子	看護キャリア開発センター 副センター長（兼任）
センター教員	国本 佳代	和歌山県立医科大学皮膚科学講座 助教（兼任）
	中田 亮子	和歌山県立医科大学麻酔科学講座 助教（兼任）
	太田 菜美	和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センター 助教（兼任）
看護師	関口 紗代	看護キャリア開発センター 主査（兼任）
事務員	永本 千安紀	看護キャリア開発センター 副主査（兼任）

[ページのトップへ](#)

ワークライフの両立のために

本学では、職員の皆さんが出産や育児および介護と仕事を両立するために必要な各種の休暇・休業等の制度を用意しています。

本学が提供しているサポートをまとめたパンフレットを作成しました

[あんしんGUIDE \(PDF\)](#)

■ 出産・育児をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください

1. 妊娠中の通勤緩和
2. つわり休暇
3. 妊娠・産後の保健指導等
4. 産前産後休暇
5. 妻の出産
6. 男性職員の育児参加
7. 育児時間休暇
8. 育児休業
9. 育児短時間勤務
10. 育児のための早出遅出勤務
11. 育児部分休業
12. 時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限
13. 子の看護休暇

■ 介護をサポートする制度

※職員の方は「学内ページ」→「ワークライフバランス」もしくは、電子カルテのサイボウズをご覧ください。

1. 短期介護休暇
2. 介護休暇
3. 介護のための早出遅出勤務
4. 時間外勤務の制限
5. 時間外勤務の免除
6. 深夜勤務の制限

[ページのトップへ](#)

附属病院託児施設 クレヨン保育園

■ クレヨン保育園について

附属病院託児施設 クレヨン保育園は、本学附属病院で働く教職員（医療従事者）のための託児施設です。ワークライフバランス支援センターは、管理・運営を担当しています。

保育園に関しましては、当センターまでお問合せください。

■ 令和3年度園児募集について

令和2年10月1日(木)～10月30日(金)の期間で、令和3年度に入園を希望する園児を募集します。以下の入園申込に必要な書類をワークライフバランス支援センターまで提出してください。

書類の提出は、10月30日(金)17時必着です。

- [通知文書](#)
- [令和3年度 クレヨン保育園 入園募集に係るご案内](#)

なお、ここ数年は定員に空きが少ない状況で運営しており、基本的に年度途中の募集はしておりませ

ん。入園希望の方は、募集時期にご応募いただけますようお願いいたします。
ご応募の際は、クレヨン保育園以外の認可・認可外保育園などと併願していただけますようお願いいたします。
また、令和3年度につきましても、年度途中の入園は難しいとお考えください。
なお、クレヨン保育園の見学は随時可能です。保育園に連絡のうえ、日時を調整してください。

- [保育園のパンフレットはこちら](#)

■ 入園申込に必要な書類

- [入所申込書](#)

保護者の就労証明書

本学外で勤務されている保護者は提出が必要です。下のいずれかの様式でご提出ください。

- [就労証明書（本学外でお勤めの方用・育児休業取得証明書を含む）](#)
- [就労申告書（自営・在宅勤務等の方用）](#)

所在地

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9
電話：073-447-2367

施設概要

建物構造	鉄筋コンクリート造1階
屋内施設	保育室、病児保育室、遊戯室、調理室、トイレ、事務室等 計756.1㎡
屋外施設	園庭
駐車場	月極
設置形態	企業主導型保育事業
設置者	和歌山県立医科大学理事長
運営体制	「和歌山県立医科大学附属病院託児施設管理運営委員会」の協議に基づき運営
利用対象	本学附属病院に勤務する、助産師、看護師、医師（教員・学内助教・研修医）、 医療技術職員が養育する子ども
収容定員	100名
委託業者	社会福祉法人 さつき福祉会

[ページのトップへ](#)

復職支援について

職種ごとに必要な復職支援を検討中です。

看護師

育児休業からの復帰前に、看護キャリア開発センターが開催する、復職支援プログラムを受講することができます。

内容はこちら→[看護キャリア開発センター潜在看護師支援ページ](#)

[ページのトップへ](#)

女性医師キャリア継続支援について

■ 女性医師のキャリア形成に関する相談

当センター所属の女性医師が、対面・メールなどで対応します。まずは、ワークライフバランス支援センターにご連絡ください。


妊娠・出産、介護に限らず、「キャリアを形成する」という視点で、どなたでもご利用ください。

ワークライフバランス支援センター

TEL：073-447-2300（代表） 内線：5706
E-mail：worklife@wakayama-med.ac.jp

[ページのトップへ](#)

[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [関連リンク](#) [学内向け案内](#)

 **和歌山県立医科大学**
WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY

医学部：〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1 TEL:073-447-2300（代表）
保健看護学部：〒641-0011 和歌山市三葛580番地 TEL:073-446-6700

©2020 WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY

クレヨン保育園

こあんない

資料23



お問合せ先

クレヨン保育園に関するご相談
キャリア継続に関するご相談

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ① worklife@wakayama-med.ac.jp
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

見学申込み

和歌山県立医科大学附属病院託児施設
クレヨン保育園

電話：073-447-2367
〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9

<<令和元年度 教育研究開発センター 事業実績>>

FD研修会（医学部）開催実績

	内 容	実 施 年 月 日
第1回	①テーマ：共用試験（OSCE・CBT）について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 40名	令和元年7月2日(火)
第2回	①テーマ：医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく本学カリキュラムの分析について（社会科学系） ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 22名	令和元年7月31日(水)
第3回	①テーマ：共用試験OSCE（Pre-CC OSCE・Post-CC OSCE）について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 27名	令和2年2月28日(金)
第4回	①テーマ：本年度卒業試験の概要について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 30名	令和2年3月25日(水)



学生カルテ操作演習マニュアル

1 a. テスト患者の検索

ID入力で患者ID90000102「テスト102」を検索する。

ID=90000102
または氏名で「テスト」
で検索する。

1 b. 学生カルテの起動

対象の患者の電子カルテを開き、ランチャから「学生カルテ」を起動する。

カルテを選択

表示されていない場合はスクロールする

1c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ

このウィンドウは無視する
(現在削除申請中)

ワークフロー画面へ

ここからは学生カルテは書けません

2. ワークフロー作成

ワークフロー作成せずに学生カルテは作れません

患者ID	患者氏名	性別	年齢	生年月日	診療科	担当医師	備考
9000001	テスト	男	20	2000-01-01	内科	村田	
9000002	テスト	女	20	2000-01-01	内科	村田	
9000003	テスト	男	20	2000-01-01	内科	村田	

3. 文書追加画面呼び出し

文書追加を押してカルテを選択

カルテとサマリの2種類のどちらかを選択

4. ワークフローに必要な情報を入力して依頼登録

文書種類を患者情報、診療科、指導医を選択
演習では「神経内科 村田頭也」を追加

名前前で検索できる

検索を押すと患者氏名が自動入力される

指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力

ワークフロー参加者を入れる。自分は選択済みなので指導医を追加する。

指導医は複数人選べる

最後に押す

5. ワークフローから記載画面を開く
 記入したいワークフローをダブルクリックして編集

6a. カルテを作成する (演習)
 今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

6b. カルテを作成する (演習)
 電子カルテ (MegaOak) のウィンドウに切り替える

6c. カルテを作成する (演習)
 電子カルテの画面からPACSを起動

6d. カルテを作成する (演習)
 PACSからMR画像を開く

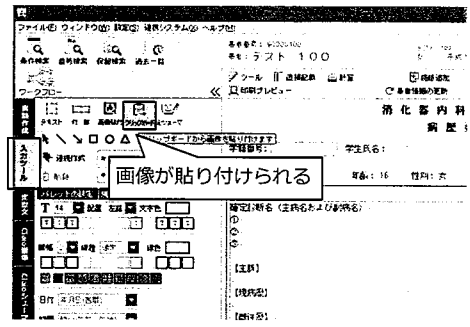
6e. カルテを作成する (演習)
 タスクバーのTryshotでキャプチャー開始する

6f. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



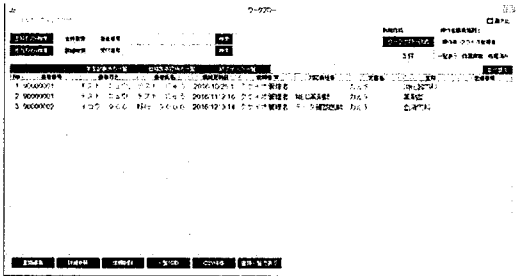
変化したカーソルで
このあたりを範囲指定

6g. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする

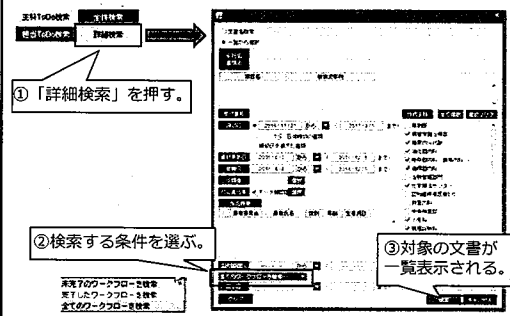


指導医に提出 (演習はここまで)

7. 指導医から差し戻しがあった場合
一覧に赤字で表示されるので開いて修正する



8. 完了したカルテの検索方法
指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。



スキルスラボ職員 名簿

平成31年4月1日現在

看護師	1名
臨時職員	1名

その他

資料28




和歌山県立医科大学の学内ページです。(学内LANからのアクセスのみ参照が可能です。)

[人事・給与関係](#)[広報関係](#)[ワークライフバランス](#)[研究支援](#)[学内LAN関係](#)

(インターネット、メール、
ウイルス対策、ホームページ)

[医療情報システム](#)[各申請書等様式](#)[大学評価関係](#)[医学教育分野別評価関係](#)[病院機能評価関係](#)[薬学部設置関係](#)[その他](#)

高度医療人育成センター5階 研修室の予約

- [予約・使用上の注意](#) 
- [予約表](#)
- [予約方法説明](#) 
- [申請書](#) 

国際交流センターからのお知らせ

「オーストラリア政府による奨学金『エンデバー奨学金』」について

- [募集要項](#) 

「ストックホルム国際青年科学セミナーの募集」について

- [募集要項](#) 

「アメリカ留学EXPO2018」について

- [募集要項](#) 

「フランス政府給費留学生」について

- [募集要項](#) 

Eラーニングシステム

- [Eラーニングシステム \(インターネット・ナビウェア\)](#)

自己評価委員会

教育研究開発センター

センター長(専任教授) 副センター長(各学部専任教員)

運営委員会

教育研究開発部門

部門長
(センター長兼務)

副部門長
(本学専任教員)
※部門長指名

1. 教務 2. カリキュラム 3. 分析・評価

教育研究開発部門部会

カリキュラム専門部会: カリキュラムの実施体制
カリキュラム編成・改善、開発
カリキュラム全般、その他

臨床技能教育部会: 臨床技能教育の方針及び研究
臨床技能教育全般、その他

教育評価部会: 大学教育の評価方法の研究
学生の評価方法の研究
教員の授業評価、その他

FD部会: 授業内容・方法の改善及び開発
セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施
授業改善全般、その他

教養教育部門

部門長
(教養担当教授)
※センター長指名

副部門長
(教養担当教員)
※部門長指名

1. 医学部および保健看護学部の教養教育に係る企画、立案及び実施
2. 医学部および保健看護学部の教養カリキュラムに実施体制及び講義・講師の調整
3. その他部門の目的を達成するための事項

教養教育検討委員会

部門長(委員長)、副部門長(副委員長)、
部門を組織する教授

医学部長、保健看護学部長、教育研究開発センター長
その他部門長が必要と認めた者

Certificate for Medical Clerkship

After having passed the premedical examination the medical student

(Name) [redacted]

Born on [redacted] in

Has performed a medical clerkship in the following field(s):

- 1. Emergency and Critical Care Medicine
- 2. Surgery I (Thoracic and Cardiovascular)

The uninterrupted clerkship was between Apr. 6, 2016 and
... Apr. 28, 2016

811-1 Kimiddera, Wakayama city, Location
Japan

..... May 19, 2016 Date

Wakayama Medical University

.....
(Name of Institution)

Official seal

For Surgery I

For Emergency and Critical Care Medicine

Yoshitaka Okamura

Sayo Kato

.....
Signature of training physician



診療科のご案内 外来受診のご案内 入院・退院のご案内 病院のご案内 医療関係者の方へ

ホーム > 外来受診のご案内 > 診療スケジュール

診療スケジュール (外来診察医担当表)

令和元年7月1日現在

当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。
担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

■ 総合診療

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
2診		(総合診療) 廣西			(総合診療) 廣西		(総合診療) 廣西			総合診療(循環器) 羽野	
3診	糖尿外来 (稲垣)		(呼吸器) 中西(正)	総合診療(循環器) 羽野	泌尿器外来 (稲垣武) [2・4週]	(肝臓) 佐藤	糖尿外来 (稲垣)				
4診	(循環器) 藤田	皮膚科 [1・5週] 神人 [2・4週] 坂田		(脳神経内科) 中西(一)	(循環器) 山本		リウマチ膠原病 広場医師 [第2週]			(循環器) 小林	
新患5診	南方		南方		藤田		中西(一)			玉置	
外科診								櫻井			

■ 脊椎ケアセンター

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
6診	脳外 大岩	脳外 大岩	整形 米良(好)		脳外 大岩		脳外 大岩		脳外 上野 [第1週]	脳外 大岩	
7診	センター長 脊椎 川上		センター長 脊椎 川上		整形 中川		整形 米良(好)		センター長 脊椎 川上		
8診	整形 藤谷		整形 寺口		骨粗鬆症外来 寺口		整形 藤谷		整形 中川		
リハビリテーション科	隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		

■ 眼科/小児科

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
眼科	泉谷	永井	石川	雑賀 [第1週] 岡田 [第3週] (眼科新患も 含む)	泉谷	子ども外来 (泉谷)	永井	泉谷	石川	術前外来 (泉谷・石川・永井)	
					黄斑外来 (石川)				永井	黄斑外来 (石川)	
小児科	青柳		樋口	青柳	米良(深)	青柳	青柳		米良(深)		

■ 認知症疾患医療センター

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
認知症疾患医療センター		大岩		廣西			廣西			中西(一)	

診療受付 月曜～金曜：午前8時45分～11時30分
※第1週の水曜日午後は、加藤医師が救急対応

このページのトップへ

著作権・リンクについて 免責事項

〒649-7113
和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

電話番号(代表)
0736-22-0066
電話番号のお掛け間違いにご注意ください

紀北分院予約センター
0736-22-4600
電話番号のお掛け間違いにご注意ください

▶予約センター
登録QRコード



令和元年 月 日

教育研究開発センター長 様
(学生課扱い)

授業評価に係る改善計画等について (回答)

講義

○ 所 属 :

○ 職 氏 名 :

○ 担当科目 :

- ※ 評点が低い項目や前回と比して著しく低い項目がある場合、該当項目欄に「改善計画」を御記入願います。
- ※ 「全般」欄には評点に関係なく、すべての教員において「目標等」を御記入願います。

全 般	全体を通して (下記項目以外)
改善計画・ 目標等	
質問項目 1	授業の開始時間に対し散漫でなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
改善計画等	
質問項目 2	授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
改善計画等	
質問項目 3	授業はわかりやすかったですか？
改善計画等	
質問項目 4	授業の内容に興味を持つことができましたか？
改善計画等	
質問項目 5	授業の内容が教育要項に準拠していましたか？
改善計画等	

○ 学生による授業評価について

教育内容の充実や教授法の改善に役立てるため、学生による授業評価を実施する。担当教員の授業について学生側からの評価をアンケート方式により行う。

1. 評価対象
3コマ以上の講義を担当する教員（教授、准教授、講師、非常勤講師、助教）
2. 評価項目
下記「授業評価アンケート」参照
3. 実施方法・時期
担当教員の最終授業の終了後及び実習、試験の終了後
アンケート用紙の配布・回収・集計等については別途定める。
4. 活用方法
授業担当教員へ評価をフィードバックして、次年度以降の授業の改善に役立てる。
5. 通知・閲覧・公表
学生課において、集計結果を保管するとともに、集計終了後、速やかに担当教員に通知する。
授業評価については、医学部長、学生部長、入試教育センター長、教育研究開発センター長が総括を行い、公表する。全教員の個別の結果は学内ホームページに掲載する。
6. その他
各教員の講義に関する評価の他、実習（臨床実習を含む）及び試験についても評価する。
教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力又は記入すること。

※評価アンケートの実施方法・内容については、教育研究開発センター教育評価部会において検討し、改訂することがある。

授業評価アンケート

教科 _____ 担当教員氏名 _____

設問1～5について当てはまる場所にをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 授業の開始時間に対し散漫で無く、授業内容に
対しての時間配分は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 | 授業の構成、内容は十分準備されていた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 | 授業は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 | 授業の内容に興味を持つことができた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 | 授業の内容が教育要項に準拠していた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

実験・実習評価アンケート

実習科目名 _____

設問1～17については当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | |
|---|--|
| 1 実験・実習の必要性や位置づけが明確であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 実験・実習内容の分量は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 実験・実習のレベルは適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 この実験・実習で学んだことは今後役に立つ。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 教員の熱意や意欲を感じた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 7 説明の仕方は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 8 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 9 実験・実習に必要な設備・器具は整っていた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 10 実験・実習上の注意事項について十分な説明があった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 11 学生からの質問に対して適切な指導があった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 12 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分であった。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 13 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立った。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 14 この実験・実習に積極的に参加できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 15 原理や操作手順を十分に理解して実験・実習に臨むことができた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 16 レポート・スケッチを自分自身で作成できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 17 実験・実習の内容を理解できた。 | ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 18 この実験・実習について、改善してもらいたい点を含め、長所・短所等を自由に記載（マークシート裏面に記載）してください。 | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず記入してください。

※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

臨床実習評価アンケート

診療科 _____

設問1～16については当てはまるところに☑をしてください。

A. 指導医について

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 指導医と討論する時間が充分にあった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 親切に接してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | 問題点を見つけるよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 4 | 時間を厳守するよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 5 | 実習中の最終目標を明確に示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 6 | 毎日の目標を示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 7 | 医学的知識について適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 8 | 医学的技術について適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 9 | 知識・技術について誤りがあった場合、注意や指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

B. セミナーについて (行われなかった場合は記入不要です。)

- | | | | | | | |
|----|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 10 | よく準備された教材を使用してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 11 | 病態との関連について適切に説明してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

C. 自己評価

- | | | | | | | |
|----|----------------------|---|---|---|---|---|
| 12 | 知識が増えた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 13 | 基本的技能ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 14 | 診断・治療の選択が可能になった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 15 | 症例の提示(発表)ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

D. 臨床実習の総合的評価

(悪い←-----→良い)

- | | | | | | | |
|----|--------------------|---|---|---|---|---|
| 16 | 臨床実習を総合的に評価してください。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----|--------------------|---|---|---|---|---|

- 17 その他、意見があれば自由に記載してください。

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

試験評価アンケート

教科 _____

設問1～2については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|-------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 試験の内容は講義内容(教育要項)に即していた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 試験時間は適正であった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
- 3 その他、意見があれば自由に記載してください。

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず提出してください。
※このアンケートは授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

開催した部会一覧

入試制度検討部会

第1回

開催日時：平成30年6月13日（水）

- 議 事： 1. 平成30年度入試について
2. 高大接続改革について

第2回

開催日時：平成30年12月13日（木）

- 議 事： 1. 2021年度（平成33年度）入試に係る変更点の予告・公表について
2. 入試情報の取扱いについて

第3回

開催日時：平成30年12月27日（木）

- 議 事： 1. 平成31年度試験問題及び解答の公表について
2. 2021年度（平成33年度）入試に係る変更点の予告・公表について
3. 入試の一元化について
4. 今後の入試制度の検討組織等について

第4回

開催日時：平成31年2月19日（火）

- 議 事： 1. 2021年度（平成33年度）入試に係る変更点の予告・公表について
2. 入学選抜試験の問題及び解答の公表について

教育評価部会

第1回

開催日時：平成30年9月12日（水）

- 議 事： CBTについて

第2回

開催日時：平成30年11月9日（金）

- 議 事： 1. 卒業試験の合否判定について
2. ベストティーチャー賞の推薦について

3. 平成 29 年度の授業評価結果について
4. 平成 31 年度履修要領について

第 4 回

開催日時：平成 30 年 12 月 10 日（月）

議 事：卒業試験（再試験）の可否判定について

カリキュラム専門部会

第 1 回

開催日時：平成 30 年 6 月 26 日（火）

議 事：1. 臨床実習について
2. 基礎配属報告会について
3. 地域医療について

第 2 回

開催日時：平成 30 年 8 月 21 日（火）

議 事：臨床実習について

第 3 回

開催日時：平成 30 年 10 月 31 日（水）

議 事：臨床実習について

第 4 回

開催日時：平成 30 年 11 月 30 日（金）

議 事：平成 31 年度カリキュラムについて

自己評価委員会

開催日時：平成 31 年 3 月 19 日（火）

議 事：平成 29 年度事業実績について

FD 部会

開催日時：平成 30 年 9 月 3 日（月）

議 事：FD の本年度計画について

医学教育分野別評価部会

開催日時：平成 30 年 6 月 18 日（月）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について

運営委員会

開催日時：平成 30 年 11 月 6 日（水）

議 事：1. 平成 29 年度実績報告について
2. 平成 30 年度事業計画（案）について



挨拶

教育研究開発センター概要

部会・委員会

自己評価委員会

掲示板

投書箱

リンク

Contents

● 部会・委員会

▶ 教育評価部会

▶ 入試制度検討部会

▶ カリキュラム専門部会

▶ 臨床技能教育部会

▶ FD部会

▶ 和歌山SPの会

部会・委員会

HOME>部会・委員会



教育評価部会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ 規程・運営要項



入試制度検討部会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ 規程・運営要項



カリキュラム専門部会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ 教育要項
- ▶ 規程・運営要項
- ▶ カリキュラムの変更点



臨床技能教育部会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ OSCE部会
- ▶ CBT部会
- ▶ 規程・運営要項



FD部会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ 規程・運営要項



和歌山SPの会

- ▶ お知らせ
- ▶ 活動報告
- ▶ SPの会ご出欠連絡フォーム

▲ページTOPへ